

# 科目 免疫学実習：病院実習 (Laboratory of Immunobiology)

担当教員 横田 浩充

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

血清学・免疫学的検査が病院でどのようにして実施されているか、また、それにたずさわる臨床検査技師がどのように検査を行っているかを実践で学ぶことを目的とする。

<教育目標>

- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ
- (3) 他者と協力して課題を解決する力をもつ

<具体的な項目>

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
- 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)
- 根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)
- 根拠を求めて、科学的な手法で実験・実証を計画・実行する能力 (1)

## 【2】 授業計画

No.	内 容
1	免疫学検査の基礎技術
2	検体の採取と処理方法
3	輸血検査
4	免疫機能検査
5	自己免疫性疾患の検査
6	腫瘍関連抗原の検査
7	その他
8	病院の組織、機構を含む全体の業務について学ぶ。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【3】 到達目標

1. 輸血検査を行うことができ、測定結果について評価することができる。
2. 免疫機能検査を行うことができ、測定結果について評価することができる。
3. 自己免疫疾患の検査を行うことができ、測定結果について評価することができる。
4. 腫瘍免疫関係の検査を行うことができ、測定結果について評価することができる。
5. 病院の組織、機構を含む全体の業務を説明することができる。

## 【4】 授業概要

実際に病院で実習を行う。東邦大学医療センター大森病院、大橋病院、佐倉病院の臨床検査部長、輸血部長および技師長・主任が担当する。

## 【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

免疫学の授業で使用した資料・教科書を予習（2時間）しておくこと。また、実習後、実習内容を教科書にて復習（1時間）すること。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

教科書：「臨床検査講座 免疫検査学」（医歯薬出版）  
参考書：「臨床検査法提要」（金原出版）

## 【7】 評価方法およびフィードバック

臨地実習先での評価シート（70%）および臨床検査課程で課する報告書（30%）により評価する。レポートは確認後、コメントを付記し返却指導する。

## 【8】 オフィスアワー

臨地実習先にて、随時担当者が対応する。  
横田：月、火、木の15時以降

**【9】 関連科目**

〔予め学んでおくとい科目〕

免疫学Ⅰ（2012～2015年度入学生用） 免疫学Ⅱ（2012～2015年度入学生用）

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床検査総論実習 臨床免疫学実習 臨床特別講義

**【10】 その他**

直接患者に接するので、身なりを清潔に言葉づかいも丁寧に、社会の一員としての自覚を持って実地に学んで欲しい。  
臨床検査技師課程の学生を対象とする実習である。